

福岡県の『令和4年度当初予算』が成立しました!!

福岡県議会は令和4年3月24日、令和4年2月議会定例会の最終本会議を開き、総額2兆1529億円の2022年度一般会計当初予算など62議案を可決、同意して閉会しました。当初予算は、3年連続過去最大。新型コロナウイルス対策の経費が積み上がり、2年連続で2兆円を超えました。

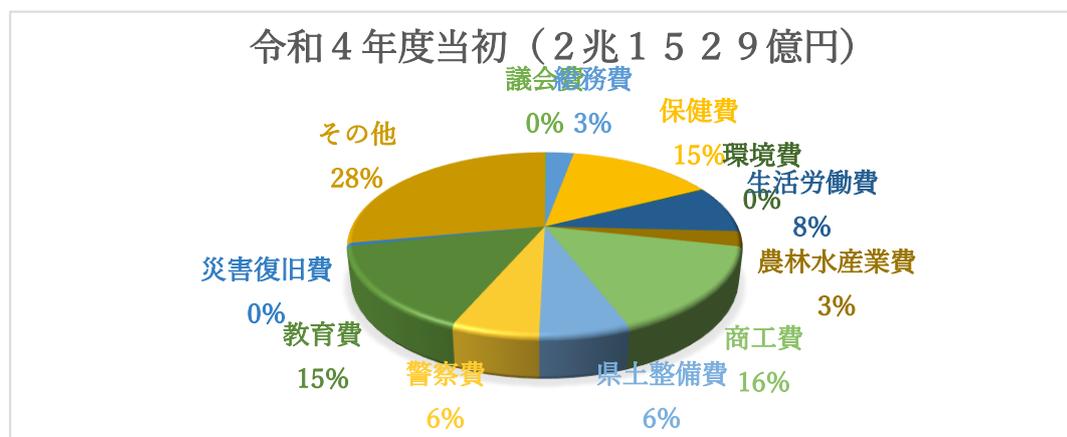


令和4年度当初予算は、

「新型コロナ機器を克服し、安全で強靱な地域をつくる」

「世界を視野に、未来を見据えて、新しい一步を踏み出す」

「誰もが安心して暮らせる福岡県をつくる」ことを目指し、切れ目のない対策を講じられることになっています。



服部誠太郎福岡県知事は、「令和4年度当初予算」の提案理由の中で、「ワンヘルスの推進について」、次のように述べられています。

「福岡県ワンヘルス推進基本条例」の基本方針を具現化するため、今議会に、「福岡県ワンヘルス推進行動計画案」が提案しております。

この行動計画に基づき、みやま市に移転する保健環境研究所の整備が進めるとともに、家畜と野生動物、愛玩動物の保健衛生を一元的に担う「動物保健衛生所」を設立し、両機関の連携によるワンヘルス実践の中核拠点「ワンヘルスセンター」の整備も進めます。

また、今年11月に本県で開催される「アジア獣医師会連合（FAVA）大会」を契機として、本県のワンヘルス推進の取組みをアジア、そして世界に向けて発信してまいります。

具体的には、「ワンヘルスの推進」に関係する予算としては、次のような施策が盛り込まれています。

新 県保健環境研究所の基本設計を実施 保健環境研究所をワンヘルスセンターの一翼を担う施設として再整備	3,017万円
新 動物保健衛生所の設置に向けた準備 動物保健衛生所の設置に向け、基本設計を策定	2,571万円
新 ワンヘルス認証制度を創設 県産農林水産物を認証する制度を創設	1,926万円
新 ワンヘルスの森づくりを推進 「四王寺県民の森」を「ワンヘルスの森」として整備	2,804万円
新 ワンヘルスの普及啓発を推進 ワンヘルス宣言事業者登録制度を創設	5,485万円
新 ワンヘルス推進の取組を発信 県民参加可能なシンポジウム開催や学生の大会参加等を支援	3,932万円
福岡県”One Health”国際フォーラムを開催 世界に向けて発信する国際フォーラムを開催	2,700万円
農林水産物や生態系に害を与える鳥獣の捕獲を推進 市町村を超えたイノシシ等の一斉捕獲を実施	4億5,574万円
新 薬剤耐性菌の実態調査 愛玩地動物の保有状況や河川における実態調査を実施	1,087万円
新 野生動物に由来する感染症対策を推進 野生動物における感染状況の調査を実施	640万円

2022年3月26日

福岡ワンヘルス協議会・事務局